



今井小だより

第7号
令和4年
10月3日
青梅市立今井小学校



今井小HP

地域で学ぶ、地域を学ぶ

校長 神尾 健彦

青梅市教育委員会では、子供の主体的な体験活動を通して、青梅市の自然・歴史・文化・産業・生活等に触れ、ふるさと「青梅」に対する郷土愛を育むと共に豊かな人間性を養うために「青梅学」を推進しています。

本校では、3年生では社会科で青梅の産業について学んだり、霞川の水生生物を調査したりしています。4年生では、霞川の水害対策について学びます。5年生では御岳山への校外学習を実施し青梅市の観光・歴史・自然について学習するとともに、霞川流域での水稻耕作について学びます。6年生では我が国の歴史の学習と絡めながら古代から連綿と続く霞川流域および青梅の歴史にも触れていきます。今年度は、今井小学校の地域資源としての「霞川」を「青梅学」の柱に据え、特色のある教育活動として取り組んでいます。さらに学習の充実のために「河川財団」からの助成や青梅市の「学びと心」の予算措置を受け、物品等もそろえながら進めているところです。

先日は、3・4年生が霞川の水生生物の観察を行いました。例年ですと3年生のみの実施ですが、今年度は昨年度コロナ禍のために実施できなかった4年生も行いました。川に入るために安全を考え、全員がライフジャケットを着用しての観察です。はじめはおそろおそろ川に入っていた子供たちでしたが、次第に夢中になり水生生物を採集していました。この学習は、青梅市のボランティア団体である「かすみ川くらしの楽校」さんに全面的にご協力いただき実施しています。普段は上からしか見ていない霞川に実際に入り、たくさんの水生生物を観察することができました。多様な生き物が棲む霞川を汚さないように大切にしていこうという気持ちが高まったのではないのでしょうか。



5年生は「御岳山」に校外学習に行ってきました。御岳山は青梅市の観光スポットであるだけでなく豊かな自然や歴史も感じられる場所です。初めて訪れるという子供もたくさんいました。きれいな沢の水に感動しながらロックガーデンを歩きました。山岳信仰の山として参拝客のための宿坊での昼食、長い歴史がある武蔵御嶽神社での神楽の鑑賞や「鎌倉殿の13人」でも話題となっている畠山重忠由来の国宝「赤糸威鎧」などの宝物の見学をしました。東京都にある国宝はほとんどが博物館や美術館に収蔵を委託されたもので、もともと東京都内にあった国宝はとても数が少ないです。御岳山には国宝指定された文化財が2点収蔵されており東京都ではここだけとなっています。私たちの住む青梅市にこのようなすばらしい場所があることを再認識できたのではないのでしょうか。

10月には、5・6年生の稲刈りや4年生の霞川地下調節池の見学も予定されています。ふるさととしての「青梅」や「今井」のすてきなところや人々の工夫や努力が見られるところなどをたくさん学び、「これから地域を大切にしていきたい」、「将来地域のために役に立ちたい」と考えられる子供がどんどん増えていくことを願っています。